

慶應篤志会の会員を対象とした 解剖の映像記録を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 形成外科 職名 教授
氏名 貴志 和生

実務責任者 所属 形成外科 職名 特任助教
氏名 梶田 大樹

連絡先電話番号 03-5363-3814

このたび本学では、医学の進歩に貢献していただく目的で、ご本人のご意志で死後解剖のための献体をお申し出になり、慶應篤志会に入会していただいた方を対象とした解剖学的研究の映像データを用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、ご本人やご家族への新たな負担は一切ありません。またご本人のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない会員の方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

慶應義塾大学篤志会の会員で、死後、医学の進歩、発展のため、医学の教育または研究に献体する旨を本人および親族が承諾しており、西暦 2018 年 4 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までの間に、臨床解剖学教育もしくは臨床解剖研究のために解剖が行われた方

2 研究課題名

承認番号 20180111

研究課題名 手術手技ならびに解剖操作の映像記録および映像の教育活用

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 形成外科学教室・解剖学教室

共同研究機関

慶應義塾大学医学部

慶應慶應大学理工学部

東京歯科大学市川総合病院

東京都立小児総合医療センター形成外科

栃木県立がんセンター

国家公務員共済組合連合会 立川病院

国立情報学研究所コンテンツ科学研究系

研究責任者

貴志 和生

斎藤 英雄

田中 一郎

玉田 一敬

飯田 千絵

濱田 茉莉子

佐藤 いまり

映像データの提供機関

慶應慶應大学理工学部

国立情報学研究所コンテンツ科学研究系

提供者

斎藤 英雄

佐藤 いまり

4 本研究の意義、目的、方法

内科外科を問わず、医師にとって解剖学の知識が治療を行っていく上で必須の知識である事は言うにおよびません。医師に対し、技術の習得も含めた高度の解剖学教育を行うことと、優れた研究を行う機会を十分に与えることは、大学の大きな使命となってきました。当大学におきましては、ご献体されたご意志にそって、解剖で得られた成果を医学および社会に還元し、医学、医療の発展に大きく寄与するためにも、医学の教育または研究のため、解剖の映像の効果的な活用にも取り組みたいと考えております。

従来、解剖で得られた知見は、写真などの手段で記録されることがほとんどでした。しかし、写真のみで全ての解剖学的所見を記録することは困難です。解剖操作を一度加えると、身体を元の状態に戻すことは不可能ですから、解剖を進める過程で気付かれた所見が、解剖操作を加える前にどのような状態であったのかを確認することは、解剖の過程を映像で記録しない限り不可能でした。また、写真を見るだけでなく、解剖の過程を映像で確認できれば、より実学的な解剖学的な教育を医師や医学生に与えることが可能です。

一方で、解剖の操作を全て映像で記録したとしても、長時間に渡る映像データから、必要とする場面を探し出すことには大きな手間が必要です。より確実な記録のためには、複数の視点から映像を記録することが望ましいですが、視聴の際の負担は数倍となります。本研究では、慶應慶應大学理工学部情報工学科および電子工学科と、国立情報学研究所との共同研究により、長時間の映像データを効率的に取り扱う手法を開発することで、この手間を支援します。画像認識などの機械処理を映像データに適用することで、医師が必要とする映像が瞬時に表示されれば、医師が効率よく学習や研究を遂行することができ、映像の有効活用が促進されます。さらには、解剖の過程で得られた所見を、とりこぼすことなく記録することで、医学、医療の発展に大きく寄与することができるものと思われます。

本研究は、慶應義塾大学医学部 形成外科を主とし、慶應慶應大学理工学部情報工学科、東京都立小児総合医療センター形成外科、東京歯科大学市川総合病院形成外科、栃木県立がんセンター、立川病院、国立情報学研究所とによる多施設共同研究ですが、東京都立小児総合医療センター、東京歯科大学市川総合病院、栃木県立がんセンター、立川病院で慶應篤志会の会員の方の撮影を行うことはありません。映像の撮影は慶應義塾大学医学部で行い、得られた映像データは理工学部情報工学科および電子工学科と、国立情報学研究所で解析されます。解析により開発された映像の視聴システムを用いて、慶應義塾大学医学部の医師が長時間の映像を視聴する際の支援を行います。

映像データの一部は、医学論文や教科書、学会発表やインターネットでの掲載など、医学、医療の発展のために解剖研究の結果として公表される場合がありますが、いずれの場合にも、ご本人が特定されないように最大限の配慮をいたします。

5 協力をお願いする内容

映像データの使用および理工学部・国立情報学研究所への提供（臨床解剖学教育もしくは臨床解剖研究の目的で行われた解剖操作を映像で記録したもの）

6 本研究の実施期間

西暦 2018 年 8 月 2 日～2022 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う慶應篤志会会員の個人情報、性別、年齢、解剖操作の映像データのみです。その他の個人情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う慶應篤志会会員の映像は、ご本人が特定されないよう最大限に配慮しつつ撮影いたします。ただし、顔面の解剖においては、映像に顔面が映り込んでしまう場合があります。この場合にも、顔全体を映すのではなく、解剖の目的に関係ない部位については隠したうえで撮影を行うなどの配慮を行います。
- 3) 慶應篤志会会員の個人情報と、匿名化した映像データを結びつける情報（連結情報）は、献体をされたご遺体を用いた研究について包括的に倫理委員会の承認を得ている研究課題「医師に対する献体を用いた臨床解剖学教育および臨床解剖研究の実施」（承認番号 20070026）の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) 連結情報は本学医学部のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、映像データの使用や理工学部への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 形成外科
特任助教 梶田 大樹（研究実務責任者）
電話番号 03-5363-3814
FAX 03-3352-1054
jmrbox767@keio.jp

以上